

標本と

箱の中に同じ大きさの赤玉と白玉が合わせて200個入っている。これらの玉を箱の中でよくまぜてから10個取り出し、白玉の個数を調べた後、すべて箱にもどす。この操作を繰り返しおこなったところ、取り出した白玉の個数の平均は1回あたり4個であった。箱の中に入っていた白玉の個数は、およそ何個と考えられるか、求めなさい。〔青森県〕

10個のうち白玉が4個、赤玉が6個の場合

200個なら白玉が80個、赤玉が120個

よて

白玉はおよそ80個